

単位取得可能な講演一覧

最新の情報は、学術集会ホームページよりご確認ください。

【6月29日（木）】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	日整会単位	運動器単位
8:40～9:40	1	理事長講演	2023年度に日本リハビリテーション医学会としてすべきこと	安保 雅博	○	13	-
9:50～10:50	1	特別1	リハビリテーション医学、そのユニークさの源泉	才藤 栄一	○	13	-
11:00～12:00	1	特別2	臨床力のあるリハビリテーション科医はプロによるリハビリテーション診療（PROr）の要である	田島 文博	○	13	-
12:10～13:10	1	ランチョン1	リハビリテーション治療の構造化におけるロボットの役割	大高 洋平	○	13	-
13:50～14:50	1	会長講演	サイエンスとアートをつなぐ対話	出江 紳一	○	14.5	-
15:00～16:00	1	教育1	科学と芸術をつなぐ	佐藤 嘉倫	○	14.5	-
16:10～17:10	1	特別3	医工連携とリハビリテーション医学	島田 洋一	○	13	-
17:20～18:20	1	特別4	関節リウマチのリハビリテーション医療の過去、現在、未来	佐浦 隆一	○	6, 13, R	○
9:50～10:50	2	教育2	切断のリハビリテーション治療での様々な適切性について	大串 幹	○	13, Re	○
			ポリオのカーボン製長下肢装具の適合をはかる	蜂須賀明子			
11:00～12:00	2	教育3	高齢者の睡眠障害	降矢 芳子	○	14.5	-
15:00～16:00	2	教育4	急性期総合病院リハビリテーションの過去、現在、未来	藤谷 順子	○	13	-
16:10～17:10	2	海外招待(現地)1	Rehabilitation Medicine in Europe : 25 years in the past and 25 years in the future	Jorge Lains	○	13	-
17:20～18:20	2	教育5	誤嚥性肺炎の発症機序とそのリハビリテーション	海老原 覚	○	13	-
9:50～10:50	3	教育6	尿失禁に対する骨盤底筋群トレーニング	吉田美香子	○	14.5	-
			尿失禁ケアにおける医工連携	森 武俊			
11:00～12:00	3	教育7	診断・評価における経頭蓋磁気刺激の意義と活用可能性	河島 則天	○	7, 13, SS	○
15:00～16:00	3	教育8	高次脳機能障害者、他の障害者、家族の心理面にリハビリテーション科医師はどう対応するのか、しないのか	先崎 章	○	13	-
			患者の「こころ」の問題に対するリハビリテーション医療現場での苦悩	木村 隆文			
16:10～17:10	3	海外招待(現地)2	Rehabilitation of spinal cord injury in children	Moon Suk Bang	○	7, 13, SS	○
17:20～18:20	3	教育9	小児の機能評価-QOL-	高橋 秀寿	○	3, 13	-
9:50～10:50	4	教育10	神経リハビリテーション医療の歴史と脳機能に着目した最新治療	宮井 一郎	○	13	-
11:00～12:00	4	教育11	人工股関節全置換術前後における患者立脚型評価と活動量	坂井 孝司	○	11, Re	○
12:10～13:10	4	ランチョン2	健康長寿におけるサルコペニアとリハビリテーション医療、栄養、漢方の意義～仕事力は人間力～	海道 利実	○	4, 13, Re	○
15:00～16:00	4	教育12	脳梗塞に対するMUSE細胞治療～基礎から治験まで～	新妻 邦泰	○	14.5	-
16:10～17:10	4	海外招待(現地)3	Geriatric rehabilitation: the importance of sarcopenia and frailty	Walter Frontera	○	8, 13, Re	○
17:20～18:20	4	教育13	経皮的脊髄電気刺激を用いたリハビリテーション治療	藤原 俊之	○	13	-
15:00～16:00	9	教育14	骨粗鬆症とリハビリテーション医学	宮本 健史	○	4, 13, Re	-
15:00～16:00	11	教育15	急性期におけるPROリハビリテーション医療の実践	三上 幸夫	○	13	-
15:00～16:00	12	教育16	脳卒中片麻痺に対する経頭蓋直流電気刺激の臨床応用	伊藤 英明	○	14.5	-
16:10～17:10	12	教育17	知っておきたい脳損傷患者の運転診断書記載に関する法的知識	武原 格	○	14.5	-
17:20～18:20	12	教育18	脳卒中患者の子後予測-脳画像解析に基づいて-	小山 哲男	○	14.5	-

【6月30日（金）】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	日整会単位	運動器単位
8:30～9:30	1	特別5	内部障害のリハビリテーション医学・医療の過去、現在、未来	上月 正博	○	13	-
9:40～10:40	1	特別6	脊髄反射および回路と運動調節	正門 由久	○	13, Re	○
10:50～11:50	1	特別7	長寿を支えるリハビリテーション医療	近藤 和泉	○	13	-

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	日整会単位	運動器単位
12:00～13:00	1	ランチョン3	脳再プログラミング療法で激変するリハビリテーション医療の役割～臨床現場から取り残されないために～	原 正彦	○	13	-
13:10～14:10	1	特別8	サルコペニアの運動療法	千田 益生	○	13, Re	○
14:20～15:20	1	特別9	サルコペニアと廃用性筋萎縮	美津島 隆	○	13, Re	○
15:30～16:30	1	特別10	男女共同参画とリハビリテーション医学	浅見 豊子	○	13	-
16:40～17:40	1	特別11	神経筋疾患の呼吸障害とリハビリテーション治療	花山 耕三	○	14-5, Re	-
8:30～9:30	2	教育19	非侵襲的脳刺激と運動学習：教育学習の神経科学的知見をリハビリテーションへ	竹内 直行	○	13	-
9:40～10:40	2	教育20	ADL評価	園田 茂	○	13, Re	-
10:50～11:50	2	教育21	体性感覚・身体認識の高次脳機能障害	平山 和美	○	14-5	-
			半側空間無視のニューロリハビリテーション	水野 勝広			
12:00～13:00	2	ランチョン4	装着型の股関節に対する歩行アシストが歩行パラメータに与える影響	大畑 光司	○	13	○
13:10～14:10	2	海外招待(現地)4	Robot-assisted rehabilitation in neurological health conditions: the Italian Consensus Conference CICERONE	Francesca Gimigliano	○	13, Re	-
14:20～15:20	2	教育22	臨床における動作分析の活用	向野 雅彦	○	13, Re	○
15:30～16:30	2	教育23	ポリオの診療：「頑張りすぎない」とは何かーリハビリテーション科医がポリオ経験者から学ぶことー	沢田光思郎	○	8, 13, Re	○
16:40～17:40	2	教育24	腰痛の基礎と臨床	矢吹 省司	○	7, Re	○
8:30～9:30	3	教育25	脳卒中リハビリテーションにおける脳機能画像の活用	及川 忠人	○	14-5	-
9:40～10:40	3	教育26	脳障害者の自動車運転再開に関する評価と訓練	豊倉 穰	○	13	-
10:50～11:50	3	教育27	ブレイン・マシン・インターフェースによる脳卒中片麻痺上肢の機能回復	牛場 潤一	○	14-5	-
12:00～13:00	3	ランチョン5	デジタル・インテグレーションによるリハビリテーション診療の展開	長谷 公隆	○	13	-
13:10～14:10	3	海外招待(現地)5	Robotic Hand Telerehabilitation	Fong-chin Su	○	13, Re	○
14:20～15:20	3	教育28	関節軟骨損傷の基礎と臨床	馬庭 壯吉	○	1, 13, Re	○
15:30～16:30	3	教育29	脳血管疾患の摂食嚥下リハビリテーション評価・治療	青柳陽一郎	○	14-5	-
16:40～17:40	3	教育30	摂食嚥下障害の歴史とこれから	藤島 一郎	○	14-5	-
8:30～9:30	4	教育31	多職種協働でおこなう臨床研究のマネジメント	百崎 良	○	14-5	-
9:40～10:40	4	教育32	筋力増強における基礎研究の進歩	池田 聡	○	13, S	○
10:50～11:50	4	教育33	フレイル・ロコモ時代のリハビリテーションアプローチ	緒方 徹	○	13, Re	○
12:00～13:00	4	ランチョン6	末梢磁気刺激 (Peripheral magnetic Stimulation) のリハビリテーション治療への応用ー現状と課題	藤原 俊之	○	13, Re	○
			Repetitive peripheral magnetic stimulation for pain relief and neuromuscular training	Kyunghoon Min			
13:10～14:10	4	海外招待(現地)6	Integration of multidisciplinary team in dysphagia rehabilitation.	Tyng-Guey Wang	○	13	-
14:20～15:20	4	教育34	がんリハビリテーション領域における研究の最新動向	田沼 明	○	5, 13, Re	-
15:30～16:30	4	教育35	臨床家に必要な生活支援機器入門	鈴木 亮二	○	13, Re	○
16:40～17:40	4	教育36	回復期リハビリテーションの過去、現在、未来	水尻 強志	○	13	-
10:50～11:50	5	教育37	活動を測り活動を変えるテクノロジー	大高 洋平	○	13	-
12:00～13:00	5	ランチョン7	歩行機能評価アプリケーションの開発およびリハビリテーション医療における役割と今後の展望	荒井 秀典	○	13, Re	-
16:40～17:40	6	スポンサード1	下肢痙縮に対するリハビリテーション診療ーボツリクス療法とITB療法などの痙縮治療の選択と併用ー	幸田 剣	○	13, Re	○
10:50～11:50	9	教育38	脳卒中センターと脳卒中急性期リハビリテーション医療	橋本洋一郎	○	14-5	-
12:00～13:00	9	ランチョン8	当院における痙縮治療の特徴と治療の実際ー痙縮治療体制の整備ー	藤原 清香	○	13, Re	-
10:50～11:50	11	教育39	整形外科の進歩と課題 日本整形外科学会創立100年に向けて	中島 康晴	○	14-5	○
13:10～14:10	11	特別12	肢体不自由児施設のリハビリテーション科医に求められるもの	加藤 真介	○	13, Re	-
14:20～15:20	11	特別13	リハビリテーション医療における前十字靭帯損傷	小林 龍生	○	12, 13, Re	○
10:50～11:50	12	教育40	摂食嚥下障害 評価からリハビリテーションまで	柴田 斉子	○	14-5	-

【7月1日(土)】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	日整会単位	運動器単位
8:30～9:30	1	特別14	膝関節3次元動態の最近の知見	菅本 一臣	○	12, Re	○
9:40～10:40	1	特別15	CI療法を通して知る回復の原理	道免 和久	○	13	-
10:50～11:50	1	特別16	障害者の自立支援とリハビリテーション医学	芳賀 信彦	○	13, Re	-
13:10～14:10	1	文化講演	選手を支えて勝利を目指すラグビーリーグワンの流儀	堀川 隆延	○	2, 13, S	○
			トップアスリートのリハビリテーション期におけるモチベーション指導について	倉重 知也			
14:20～15:20	1	特別17	これからの回復期リハビリテーション病棟の理想のデザイン - エビデンスの活用とプロセスの強化 -	近藤 国嗣	○	13	-
15:30～16:30	1	特別18	生活期のリハビリテーション医療の実践	川手 信行	○	13	-
16:40～17:40	1	特別19	産業医学とリハビリテーション医学の連携	佐伯 覚	○	13	-
8:30～9:30	2	教育41	認知症のリハビリテーション治療の現状と展望	田中 尚文	○	14, 5	-
9:40～10:40	2	教育42	関節リウマチ治療のパラダイムシフトが及ぼすリハビリテーション専門職養成における大学教育へのインパクト	関 勝	○	6, 13, Re	○
10:50～11:50	2	教育43	肢体不自由児リハビリテーションにおける歩行機能改善への取り組み	落合 達宏	○	3, 13	-
12:00～13:00	2	ランチョン9	慢性疼痛の治療とリハビリテーション医の役割～薬物療法と運動器リハビリテーション～	尼子 雅敏	○	13, Re	○
14:20～15:20	2	教育44	股関節治療の進歩と運動療法の役割	杉山 肇	○	11, Re	○
15:30～16:30	2	教育45	肩関節変性疾患に対するリハビリテーションの役割	谷口 昇	○	9, Re	○
16:40～17:40	2	教育46	投球障害肩に対する競技復帰に向けたリハビリテーション	村木 孝行	○	2, 9, Re	○
10:50～11:50	3	教育47	パラスポーツに医師として帯同するときを知っておきたいこと	羽田 康司	○	13, S	○
12:00～13:00	3	ランチョン10	地方慢性期病院でのコーチング導入経験	高橋 邦康	○	14, 5	-
			リハビリテーション医療に強い組織をコーチング型マネジメントで創り出す	江草 典政			
14:20～15:20	3	教育48	リハビリテーションにおける振動刺激の利用	衛藤 誠二	○	13	○
15:30～16:30	3	教育49	小児の機能評価 - WeeFIM と PEDI	里宇 明元	○	3, 13, Re	-
16:40～17:40	3	教育50	小児のリハビリテーション - 運動器障害を中心に - これまでの25 (x n) 年とこれからの25年 -	小崎 慶介	○	3, 13, Re	-
10:50～11:50	4	教育51	精神疾患におけるリハビリテーション医療の新展開・精神科理学療法	荒川 英樹	○	14, 5	-
12:00～13:00	4	ランチョン11	摂食嚥下障害に対する末梢磁気刺激	加賀谷 斉	○	14, 5	-
14:20～15:20	4	教育52	片麻痺歩行動作解析 実験室から臨床や生活の場へ	関口 雄介	○	14, 5	-
10:50～11:50	5	教育53	救命救急センターにおける早期リハビリテーション医療	中村 俊介	○	13	-
12:00～13:00	5	ランチョン12	脊髄損傷者リハビリテーション医療における尿路管理の実際 ～当センターの経験から～	高橋 良輔	○	7, SS	○
12:00～13:00	6	ランチョン13	スマホ用治療支援アプリを用いた人工膝関節周術期管理 ～医師の立場から～	水野 清典	○	13, 12, Re	-
			スマホ用治療支援アプリを用いた人工関節のリハビリテーション医療(理学療法士の立場から)	和田 治			
10:50～11:50	9	教育54	VUCA時代の医療をコーチングで乗り越える - チーム医療と医療者教育の導入事例 -	横尾 英孝	○	13	-
12:00～13:00	9	ランチョン14	装着型の膝関節に対する歩行アシストが歩行パラメータに与える影響	大畑 光司	○	13, Re	-
14:20～15:20	9	特別20	リハビリテーション医療に必要な運動生理学	中村 健	○	13	-
15:30～16:30	9	特別21	重症COVID-19に対するリハビリテーション治療(急性期から社会復帰まで)	酒井 朋子	○	13	-
16:40～17:40	9	スポンサード2	リハビリテーション治療におけるBrain machine interfaceの応用	藤原 俊之	○	13	-
			脳卒中後に生じる上肢運動障害に対する工学機器を用いたアプローチ戦略	竹林 崇			
8:30～9:30	11	規定講習会(医療安全)	病院における転倒・外傷予防	大高 洋平	○	-	-
9:40～10:40	11	規定講習会(医療倫理)	臨床における倫理的課題	藤島 一郎	○	-	-
10:50～11:50	11	規定講習会(感染対策)	コロナ禍の制御とその他の感染症対応	藤谷 順子	○	-	-
14:20～15:20	11	指導医講習会1	ダイバーシティ & インクルージョン	浅見 豊子	○	14, 5	-
15:30～16:30	11	指導医講習会2	専攻医のしくじりから学ぶリハビリテーション科医シップ-指導医が教えてくれたこと-	須田 万豊	○	14, 5	-
8:30～9:30	12	教育55	高次脳機能障害のみかた	大沢 愛子	○	14, 5	-
			脳画像所見をどのように理学療法評価と治療に活用していくか	阿部 浩明			

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	日整会単位	運動器単位
9:40～10:40	12	教育 56	反復性末梢磁気刺激を用いたリハビリテーション治療	加賀谷 斉	○	13, Re	○
10:50～11:50	12	教育 57	下肢に対するロボットリハビリテーション最先端	平野 哲	○	13, Re	○
12:00～13:00	12	ランチョン 15	脳卒中上肢機能障害に対する新しいリハビリテーション治療	藤原 俊之	○	13	-

【7月2日(日)】

時間	会場	種別	演題名	演者	リハ単位	日整会単位	運動器単位
8:30～9:30	1	特別 22	脳卒中中の機能回復 - 促通反復療法を基盤とした片麻痺治療と新たな挑戦 -	下堂 蘭 恵	○	14,5	-
9:40～10:40	1	特別 23	地方大学医学部附属病院におけるアスリート・メディカルサポート	津田 英一	○	13, S	○
10:50～11:50	1	特別 24	高齢がん患者のリハビリテーション診療 - 超高齢化社会に向けて	辻 哲也	○	13	-
12:00～13:00	1	ランチョン 16	痙縮に対するボツリヌス療法の最適化 - 痙縮患者さんをよく知る療法士の職域として、何が出来るか? -	君浦 隆ノ介	○	13, Re	-
13:10～14:10	1	特別 25	脊椎外科医とリハビリテーション科医 - 異なる視点と必要な連携 -	三上 靖夫	○	7, 13, SS	○
14:20～15:20	1	特別 26	がん細胞の振る舞いと骨転移のリハビリテーション病理像から生活機能を考えるということ	城戸 顕	○	5, 13, Re	-
15:30～16:30	1	特別 27	知っておきたい「がんロコモ」 - がん患者における運動器マネジメントの重要性 -	緒方 直史	○	13, Re	○
10:50～11:50	2	教育 58	学童期における運動器疾患の早期発見とロコモティブシンドローム予防	帖佐 悦男	○	13, Re	○
12:00～13:00	2	ランチョン 17	多職種で行う骨折リエゾンサービス - チームの中で理学療法士ができること -	栗田 慎也	○	2, 13, Re	○
13:10～14:10	2	教育 59	骨粗鬆症の診断・治療の考え方から治療戦略まで症例を通して学ぶ視覚/空間認知障害	永井 隆士	○	14,5	-
14:20～15:20	2	教育 60	リハビリテーション医学における臨床神経生理学の役割	鈴木 匡子	○	13	-
15:30～16:30	2	教育 61	脳科学から高次脳機能障害リハビリテーションを考える: 神経メカニズム探究からの手がかり	岡島 康友	○	14,5	-
10:50～11:50	3	教育 62	脊髄損傷治療の変遷と展望 - リハビリテーションを含めて -	大林 茂	○	7, 13	○
13:10～14:10	3	教育 63	リハビリテーション栄養のエビデンスとポジションペーパー	前田 健	○	13	-
14:20～15:20	3	教育 64	地域における包括的リハビリテーションの過去、現在、未来	若林 秀隆	○	13	-
15:30～16:30	3	教育 65	膝関節痛に対する超音波診療 - 膝関節外科医による保存療法 -	菊地 尚久	○	12, Re	○
10:50～11:50	4	教育 66	外傷性脳損傷に対するリハビリテーション治療の過去、現在、未来	中瀬 順介	○	14,5	-
13:10～14:10	4	教育 67	腎臓リハビリテーション医学・診療の進歩	渡邊 修	○	14,5	-
14:20～15:20	4	教育 68	義手と義足の進歩 - リハビリテーション医療との乖離 -	伊藤 修	○	13, Re	○
15:30～16:30	4	教育 69	運動学習理論を活用したリハビリテーション診療	陳 隆明	○	13	-
10:50～11:50	5	教育 70	生活期の「ミカタ」 - 福祉制度の活用 -	長谷 公隆	○	14,5, Re	○
13:10～14:10	5	教育 71	脊髄損傷急性期のリハビリテーション医療	西嶋 一智	○	7, SS	○
14:20～15:20	5	教育 72	心臓リハビリテーション医療の過去、現在、未来	土岐 明子	○	14,5	-
15:30～16:30	5	教育 73	我が国のサリドマイド胎芽症者のいま - 研究で見てきたことと当事者たちの困りごと -	牧田 茂	○	14,5, Re	○
10:50～11:50	8	教育 74	地域包括ケアシステムの現状と課題	小林 毅	○	14,5	-
15:30～16:30	8	教育 75	頸髄損傷における嚥下障害と呼吸障害 - 病態から考える治療の cutting edge -	椿原 彰夫	○	7, 13	○
12:00～13:00	9	ランチョン 18	最新のスキンケア 褥瘡とスキンケアに焦点をあてて	林 哲生	○	14,5	○
8:30～9:30	11	規定講習会(両立支援)	医療機関における治療と仕事の両立支援	真田 弘美	○	-	-
9:40～10:40	11	規定講習会(地域医療)	地域包括ケアシステムと地域医療	佐伯 覚	○	-	-
10:50～11:50	11	規定講習会(医療福祉制度)	社会保障制度の概要 - とくに福祉用具の給付について	和田 恵美子	○	-	-
13:10～14:10	11	規定講習会(医療経済(保険医療))	社会保険制度における医療関連費の現状と課題	高岡 徹	○	-	-
14:20～15:20	11	規定講習会(医療制度と法律)	医療機関におけるコンプライアンス - 大学病院の院内弁護士として	近藤 国嗣	○	-	-
10:50～11:50	12	教育 76	神経難病のリハビリテーション治療	瀬尾 雅子	○	14,5, Re	-

【海外招待講演（ビデオ講演）】

時 間	会場	種 別	演題名	演 者	リハ 単位	日整会 単位	運動器 単位
6/29 9:50～10:50 6/30 13:10～14:10 7/ 1 15:30～16:30	10	海外招待 (ビデオ) 1	Mechanisms of Motor Recovery After Stroke: Informing Rehabilitation Interventions	Pablo Celnik	○	-	-
6/29 11:00～12:00 6/30 14:20～15:20 7/ 1 16:40～17:40	10	海外招待 (ビデオ) 2	5 Lessons from 20 Years in Pursuit of Reducing Pitching Arm Injuries	Charles A Thigpen	○	-	-
6/29 15:00～16:00 6/30 15:30～16:30 7/ 2 8:30～ 9:30	10	海外招待 (ビデオ) 3	Global standard for prosthetics and orthotics	Edward D Lemaire	○	-	-
6/29 16:10～17:10 6/30 16:40～17:40 7/ 2 9:40～10:40	10	海外招待 (ビデオ) 4	Greater Role for Biology, Rehabilitation and Technology in Achieving Significant Recovery after Sever Paralysis.	V Reggie Edgerton	○	-	-
6/29 17:20～18:20 7/ 1 8:30～ 9:30 7/ 2 10:50～11:50	10	海外招待 (ビデオ) 5	Surgical treatment of cartilage lesions of the knee: from indication to return to sport.	Stefano Zaffagnini	○	-	-
6/30 8:30～ 9:30 7/ 1 9:40～10:40	10	海外招待 (ビデオ) 6	Respiratory muscles dysfunction in the ICU	Boris Jung	○	-	-
6/30 9:40～10:40 7/ 1 10:50～11:50	10	海外招待 (ビデオ) 7	Behavioural management of chronic cough and related laryngeal disorders.	Anne Vertigan	○	-	-
6/30 10:50～11:50 7/ 1 14:20～15:20	10	海外招待 (ビデオ) 8	Patient Reported Outcomes (PROs) in Rehabilitation: Why, What, and When?	Nancy E Mayo	○	-	-